

# ノークリサーチによる「スマートデバイス」の定義

2012年4月9日  
調査設計/分析/執筆: 岩上由高

「スマートフォン」や「タブレット」という言葉は一般消費者の間でも既に広く使われている。だが、これらの定義はユーザやメーカーによって様々だ。しかし、これらの市場を取り上げる際には何らかの形で明確な定義を与える必要がある。そこで、ノークリサーチでは「スマートフォン」「タブレット」(両者をまとめて「スマートデバイス」と呼ぶ)および関連する各用語を以下のように定義している。

## [フィーチャーフォン]

通話機能以外にカメラ、音楽再生、各種センサ(加速度センサなど)といった様々な機能を搭載した多機能携帯電話。  
※後述の「スマートフォン」も上記のような特徴を備わっているが「スマートフォン」は「フィーチャーフォン」の一種とは見なさない。

## [スマートフォン]

以下の条件を満たした携帯電話。

- ・キャリア(通信会社)固有ではない汎用的なOSを搭載している
- ・搭載OS上で、キャリアや端末メーカーとは異なる第三者がフィーチャーフォンよりも高い自由度で(※)アプリケーションを開発/提供できる
- ・ユーザーがキャリア固有ではない形でアプリケーションを導入/利用できる仕組みを備えている
- ・3G回線やWiFiなどを介したインターネットへの接続機能を備えている

※フィーチャーフォンにおいてもNTTドコモの「iアプリ」、auの「EZアプリ」、ソフトバンクモバイルの「S!アプリ」といったアプリケーションを開発する仕組みが提供されていたが、キャリア依存した開発作法やアクセス先がアプリケーションのダウンロード元限定されることもあるなどの制限があった。

## [タブレット]

スマートフォンが備える4つの条件に加えて、さらに以下を満たすもの。ただし、携帯電話としての通話機能は必須ではない。

- ・画面のサイズは7インチ以上
- ・タッチパネル画面による入出力を主体とし、キーボードやマウスといったそれ以外の入力デバイスを標準では本体に備えない

※通話機能を備えないことを「タブレット」の定義に加える考え方もあるが、サムスンモバイルの「GALAXY Tab」、NECカシオモバイルコミュニケーションズの「MEDIAS TAB」など通話機能を備えたものも登場してきており、通話機能がないことを「タブレット」の定義に加えることは実態と合わなくなってきている。

※スマートフォンの定義には「キーボードを備えない」ことが条件に入っていない点に注意する必要がある。実際、従来型携帯電話と同じナンバーキーやキーボードを備えたスマートフォンも存在する。一方、「タブレット」の定義には薄型ノートPCなどと区別するため、タッチパネル以外の入力デバイスを標準では本体に備えないことが条件に含まれている。

※上記2点を踏まえると、「ナンバーキーやキーボードを備えないスマートフォン」と「タブレット」の実質的な違いは画面サイズのみとなってきている。その際の画面サイズの境界線をどこに設定するか?は判断が難しいが、各メーカーから販売される「スマートフォン」「タブレット」と称される製品の状況をふまえると、「7インチ」が一つの境界線の候補として現時点では妥当と考えられる。

※タブレットとノートPCの中間に位置するものもある。レノボの「IdeaTab S2-10」は本体タブレットだが、専用の「キーボードドッキングステーション」に接続するとノートPCと変わらない形態となる。ノークリサーチの定義では別途オプションでキーボードを装着するものは「タブレット」に含める。

※一方、同社の「IdeaPad U1 hybrid with LePad slate」はWindows7搭載ノートPCだが、ディスプレイ部分を取り外すと単体のAndroid搭載タブレットとして機能する。タブレット部分(「LePad slate」の部分)のみの販売も行われる予定のため、この機種はタブレットとノートPCの文字通りのハイブリッドであるといえる。「LePad slate」単体についてはキーボードを備えないタブレットとしての利用が主に想定されていることから「タブレット」に分類される。だが、「IdeaPad U1 hybrid with LePad slate」は一部をタブレットとして切り離すことができる「ノートPC」として分類される。

## [タブレットPC]

以下のいずれかの条件を満たすWindowsOS搭載のPC。

- ・Windows XP Tablet PC Editionを搭載し、タッチパネルを備えたもの
- ・Windows VistaやWindows7が備えるタブレット機能を活用し、タッチパネルによる操作が可能なもの

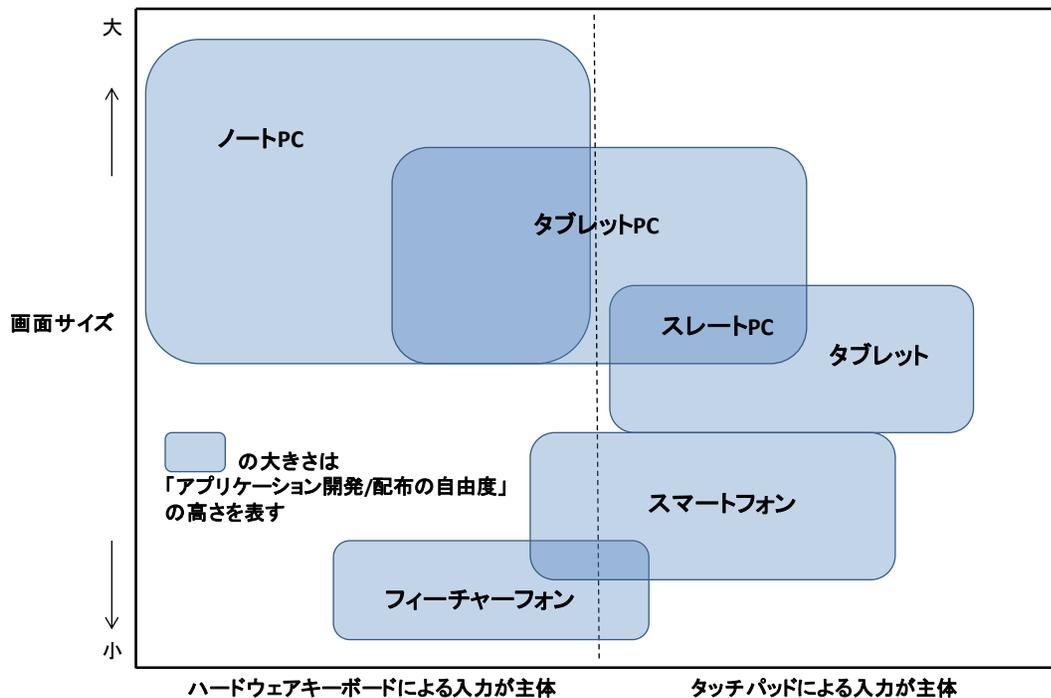
タブレットPCのうち、キーボードを備えないものは「ピュアタブレット型」(例.NECの「Lavie TB」など)と、キーボードを備えると同時に折りたたみや回転によってピュアタブレットのような形状にもなる「コンバーチブル型」(例. パナソニックの「Let's note C1」、デルの「Inspiron Duo」など)がある。

## [スレートPC]

「ピュアタブレット型」のタブレットPCの別称。WindowsOSを搭載した「タブレット」に相当するため「タブレット」と同義と見なすことも多いが、「スレートPC」はWindowsOSのフル機能を搭載しており、一般PC向けアプリケーションをそのまま利用できることがiOSやAndroidを搭載した「タブレット」とやや異なる。ノークリサーチの定義では「スレートPC」は「タブレット」の一種とみなす。

上記に述べた関連用語の関係を図示すると、以下のようになる。企業における「スマートフォン」や「タブレット」の活用はまだ黎明期であり、企業向け用途での精緻な市場規模算出ができる段階には達していない。(メーカ出荷数値に基づく算出方法では一般消費者向けや電子書籍などの特定用途向け端末が混在し、それらを正確に仕分けることが難しいため、実際と乖離した数値が出てしまう可能性もある)今後新たな区分や用語が登場する可能性もあり、さらに変化が生じる可能性が十分ある市場である点に留意しておく必要がある。

### スマートフォン/タブレットと関連用語の関係



本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>



株式会社 ノークリサーチ  
調査設計、分析、執筆: 岩上由高  
東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705  
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
inform@norkresearch.co.jp  
<http://www.norkresearch.co.jp/>